

2004年10月1日
株式会社日立製作所
執行役社長 庄山悦彦

日銀短観に関するコメント

本日発表の日銀短観は、企業の景況感を示す業況判断指数が、1991年5月以来の高水準を示すなど、日本経済の着実な回復を裏づけているものと受け止めている。日立としても、プラズマテレビの販売が好調に推移するなど、手応えを感じている。

しかし、昨今の原油価格の高騰により、原材料価格が上昇している一方で、製品価格の下落が続いており、今後の企業収益への影響が懸念される。政府には、景気の回復を確かなものにするための施策の着実な実行を期待する。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
